

新宮山彦ぐるーぷ 第1912回

## 新春登山「ムネドチの頭(Ⅲ△1018.1m、点名:大谷頭)」

### 及び石佛山(1158m)周回

◇実施日:平成29年01月02日(月) 晴後薄曇・風弱し

◇参加者:川島 功、浜野謙吉、畑林清子、中前 偉、山川治雄、

須崎誠久・陽子、湯川 一郎、高階鈴子・美根子、細川頌司(新

宮・熊野・尾鷲地区) 11名、青木宏充、梶野照雄(阪和地

区) 2名、瀧本昭太郎、山口 修、斉藤和美、林 良子、

大橋澄子(炉端山友会) 5名、島本眞澄、曾和幸江、岩崎仁

子(みちくさハイキングクラブ) 3名。 計21名。

尚、車提供者は太字。

今年の新春登山は、平成19年に新春登山として玉岡前代表外9名が登られたが登られていない方もあり、十津川村・ムネドチの頭となった。

集合場所の風屋郵便局に各地区からの参加者が集合し、川島代表から新年の挨拶が述べられ、自己紹介を行った。

また、川島代表から本日のリーダーは、平成25年4月に滝川からムネドチの頭・中八人山経由で持経宿まで縦走経験のある瀧本昭太郎氏(新宮山彦ぐるーぷと炉端山友会に所属)とする旨と滝川登山口の駐車場については、山川氏がほんみち教に事前交渉し確保している旨が告げられた。

風屋郵便局を8時23分に出発、登山口となる「ほんみち教駐車場」には8時31分に到着した。車が予定より多い8台在り広い路側に駐車。本日参加の炉端山友会の参加者は、瀧本氏の案内で石佛山経由で滝橋へ下山するため、車の回送に行かれ登山口にて、しばらく待機することなつた。

参加者が揃い8時58分に、上津野橋傍にある電源開発公社巡視路(↑73番鉄塔)に取り付く。



風屋郵便局で始発



滝川・ほんみち教P



上津野橋傍の巡視路へ

尾根末端に急登し、少し平らな尾根横に廃棄された墓がある地点、更にその上の石垣積みみの田・畑跡で衣服調整のため小休止。急傾斜な尾根に付けられたジグザグの巡視路を辿り73番鉄塔へ。

北側の眺望が開け高時山、天竺山の山並みが望めるようになる。



N073鉄塔で山頂同定

点名:倉平三角点と三角点から山頂を同定

やや急な尾根を辿ること1時間、9時58分に三角点のある点名:倉平(Ⅲ△606m、三角点直下に72番鉄塔)に到着した。

山頂付近は伐採され、西側の法王尾山から行仙岳の山稜が眼前に見え、眼下に風屋ダム湖が見える、がダム湖底の排泥中なのか黄土色に濁っている。

ここからムネドチの頭まで熊野幹線の鉄塔を繋ぎながら登る。登山路は急登ではないものの、アップダウンのある長い道程だ。71番鉄塔・69番鉄塔で小休止しつつ、68番鉄塔に11時4分に到着する。

此処からは涅槃岳、釈迦ヶ岳方面の奥駈道の山稜の展望が得られ、各自各山頂の同定と展望を楽しむ。



No69 鉄塔で眺望



No68 鉄塔で山頂同定



釈迦ヶ岳方面を望む

瀧本氏から目指すムネドチの頭には12時までには到着したいとの指示があり11時20分に出発した。

山名板の杭を運ぶ須崎(誠)氏には、同行の者から「悔いの無いよう杭を運べ」との激励の言葉も出たが、身長も高い上、杭自体が長く、所々腰を屈めながら登られている。

広葉樹尾根の落葉を踏みしめ、鉄塔直下の急な斜面を登ると67番鉄塔で、直ぐ上がムネドチの頭で11時51分に到着。

これまで風もなく暖かったが、雲行が変わり寒く感じられた。三角点のある山頂には平成19年に立てた山名板が残っていた。山名板の取り換え作業を行った後、川島代表の発声で「2017年酉年、皆

さんのご活躍とご健勝を祈念しムネドチの頭山頂に掛けて」万歳三唱！



山頂三角点と旧山頂標識



標柱に標識打ち付け



山頂を囲んで万歳三唱！

集合写真を撮ろうとしたが、周りにはススキ、背丈が胸位の赤松と雑木が生えていて、21名全員がまとまる程の広さがなく、67番鉄塔をバックに撮影した。  
ムネドチの頭では、山座同定を楽しむとともに、今年は大峰山系も雪が少ないことを実感した。



鉄塔バックに記念撮影



雑木で山頂が狭い



雑木伐採し山頂で記念撮影

事務局の沖崎氏が用意して下さった恒例の「花びら餅・さんま寿司及

びお屠蘇(清酒・太平洋)を頂きながら、各自が昼食をとった。

山彦恒例の焚火は、山頂近くに適当な場所が無い上には風もあり、又炉端山友会が石佛山へと周回縦走される事から今回は中止とした。

焚火を消す為に、各自担ぎ上げた水等は不要となり捨てて頂いた。

川島代表は、記念撮影は山頂で撮るべきと、沖崎氏の鋸で小生えの雑木を切り、山頂を囲んで山彦ぐるーぷ会友の記念撮影をする。

石佛山を目指す炉端山友会の5名は、12時43分に出発。風もあり寒さを感じ、我々も12時52分に下山を開始した。

68番鉄塔にて最後の展望を楽しみ、14時10分に倉平(三角点の手前の尾根鞍部まで下った。鉄塔巡視の名板には、登山道と記されていて、山川氏が集落からの生活道であるので、下つてみないかとの提案があり、協議の結果、全員で下ることになった。



点名:倉平手前鞍部分岐

集落近くの生活道

ほんみち教Pで終礼

往路で登った尾根を右手に下ると、最初は広い道も猪で掘り返され、歩きにくいのが、所要所にピンクテープも在り、かなり急なジクザクの細い山道を下り、支谷を横切ると山腹を少しづつ下る歩き易い生活道となり、20分余りで集落が見える所に着き、最後の小休止とした。

先行して集落へと下った青木氏の後を追い、民家脇の細い道から車道に出て下ると、出発地点のほんみち教の駐車場へ14時53分に到着。

一時、足をつりそうになった方も、葉等で処置された事もあり、炉端山友会メンバーを除く全員が無事に下山した。

最後に、川島代表から落葉で埋もれた急な段差の登山道では、後続者や下山時のことを考慮し、落葉を払いながら歩く(今回は山川・青木・梶野・中前氏が実施)ことが安全登山につながる旨とこれからの帰路の交通安全に気をつける様に話があり、15時3分に解散となった。

新宮着の川島へ、瀧本氏から滝川まで無事下山の電話連絡有(16:35)。



### 行動タイム

8:05 風屋郵便局 8:23→8:31 滝川登山口(ほんみち教P) 8:58→  
9:35 73番鉄塔 9:43→9:58 倉平(三角点直下は72番鉄塔) 10:06  
→10:22 71番鉄塔 10:25→10:35 69番鉄塔 10:40→11:04 68番  
鉄塔 11:20→11:51 ムネドチの頭 12:52→13:13 68番鉄塔 13:23→  
13:48 69番鉄塔 13:51→14:10 点名:倉平三角点手前鞍部 14:13→  
14:35 集落手前の休憩地点 14:43→14:53 ほんみち教駐車場 15:03→  
解散。

### 寄贈

・島本真澄:5千円。

・沖崎吉信:さんま寿司2本。

(写真:川島・梶野、記 湯川)